

群馬県輸血関連看護師会

学会認定・自己血看護師取得者何名かが、
「何か活動したいね」と言い始める

技師に相談し、技師より各病院の学会認定・臨
床輸血看護師取得者に声をかける

賛同した看護師が開催場所に集合した
(平成24年1月10日)

定期的に活動開始

活動内容

- ① 群馬県看護協会に群馬県輸血関連看護師会の設立を報告。
- ② 年4回の会議を開催
- ③ 個々の問題点や疑問点の情報を共有
- ④ 看護師間独自の連絡手段の確立
- ⑤ 「新人教育マニュアル」の作成と活用
- ⑥ 各種マニュアルの作成や修正
- ⑦ 独自の勉強会を開催
- ⑧ 学会や支部例会等で等で演題発表

新人教育マニュアル

本日のお話し



輸血の目的
血液製剤の
副作用に
輸血療法

輸血療法の考え方

輸血療法は補充療法であり、またリスクを伴うことからリスクを上回る効果が期待されるかを十分に考慮し、適応と輸血量を決める。
輸血目的や輸血実施の評価などについても記録・保管することが重要。
特定生物由来製品(輸血用血液製剤や血漿分画製剤など)の使用者の記録は20年間保存する。



輸血は細胞移植のひとつである

勉強会の様子

- 参加人数：9施設 30名
(内訳：看護師 27名、技師 3名)



発表内容

- 第135回 日本輸血細胞治療学会 関東甲信越支部例会
- 第21回、第55回 日本自己血輸血看護師指定セミナー
- 第1～5回 群馬県輸血研究会
- 第16回 関甲信支部・首都圏支部 輸血検査研修会
- 平成26年度 茨城県合同輸血療法委員会
- 群馬県合同輸血療法委員会
- 第63回 日本輸血細胞治療学会総会 等

群馬県輸血関連認定看護師会

- 2017年には会議参加者が10名以下に
- 会の存続のために活動しやすい環境を

群馬県合同輸血療法委員会の下部組織
群馬県輸血関連看護師会



看護師の輸血教育の現状

- 看護教育に輸血療法はあまり含まれていない
- 輸血研修は各病院によって異なる
- 看護協会の研修の中に輸血療法は含まれていない
- 病院により輸血を扱う頻度が異なる
- 個人の経験や意識によって輸血の習熟度が異なる



輸血について学ぶ機会が少ない



輸血関連認定看護師会

群馬県合同輸血療法委員会 輸血関連看護師会

輸血研修会

参加費
無料

輸血医療の安全性向上を目的に勉強会を開催します

群馬県で働く看護師さんであれば、どなたでもご参加いただけます。

同じ内容の研修会を中毛地区、東毛地区の各会場で2回ずつ行いますので

ご都合の良い会場にご参加ください。

●●●●●●●●●● プログラム (各回共通) ●●●●●●●●●●

1. 赤十字血液センターによる講義～輸血の基礎について～ (30分)
2. 模擬バッグを使った実技研修 (30分)
3. 輸血のQ&A (30分)



中毛地区会場

前橋赤十字病院 1階 講堂
(前橋市朝倉町 389 番地 1)

東毛地区会場

太田記念病院 2階 4A・4B 会議室
(太田市大島町 455 番地 1)

輸血関連認定看護師会

参加希望者の状況

	1回目	2回目
東毛地区	35名（18施設）	38名（12施設）
中毛地区	44名（18施設）	42名（21施設）

参加施設：伊勢崎福島病院、太田記念病院、鶴谷病院、慶友整形外科病院、公立富岡総合病院、石井病院、西片貝クリニック、おうら病院、関口病院、新橋病院、真木病院、前橋赤十字病院、大島病院、みどり病院、上武呼吸器内科病院、城山病院、東邦病院、蜂谷病院、北関東循環器病院、北毛病院、本島総合病院、あかつきウィメンズクリニック、せせらぎ病院、角田病院、関越中央病院、月夜野病院、佐藤病院、榛名荘病院、須藤病院、善衆会病院、大胡クリニック、田中病院、東毛敬愛病院、日高リハビリテーション病院、富士ヶ丘病院、木暮病院、療育センターきぼう、あさくらスポーツリハビリテーション・クリニック、くすの木病院、ほたか病院、マザーズクリニックTAMURA、伊勢崎市民病院、居宅ひまわり、桐生整形外科病院、駒井病院、群馬大学医学部附属病院、宏愛会第一病院、大和病院、田島病院、本多病院、有馬クリニック、利根中央病院



輸血関連認定看護師会

